

母指球筋萎縮の著明な手根管症候群における正中神経運動枝破格の意義

1. 研究の対象

2000年4月1日～2019年3月31日に当院で手根管症候群の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

母指球筋萎縮の著明な手根管症候群(重度CTS)において、正中神経運動枝の破格の有無と臨床症状や術後経過との関連について対象となる患者さんの診療録をもとに後ろ向きに調査し、その意義について考察します。

研究実施期間:

①調査対象期間:2000年4月1日～2019年3月31日

②データ収集期間:臨床研究倫理委員会承認後～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、身体所見、神経伝導検査所見、手術所見、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究責任者

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

整形外科 日高典昭

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06-6929-1221(代表)